

国際ロータリー第2570地区

行田ロータリークラブ

RI会長：グレン E. エステス シニア / ガバナー：橋田 弥寿男

会長：黒淵陽夫 / 幹事：島崎政敏

例会日：木曜日

午後12時30分開会

クラブ会報委員会

会 場：アドバンテスト

委員長：中島捷二 / 副委員長：境野登章

委 員：岡田則之、島田修、反町清

大谷浩一、山本栄治

行田クラブハウス

第1921回 夜間例会 [場所：ふじみ寿司] (4月28日)

2004～05 国際ロータリーのテーマ
「ロータリーを祝おう」



CELEBRATE
ROTARY

100 Years

来訪者のご紹介

行田さくらRC 矢澤大和 会員

米山奨学生 ゲン君

会長挨拶 黒淵陽夫 会長



皆さんこんばんは！

昨日は熊谷西ロータリークラブの30周年記念例会に、島崎幹事と出席してまいりました。盛大に挙行され大変立派な30周年記念例会でありました。

いよいよ地区大会も終了し、来月の15日には地区協議会が開催されます。こう見てみますと本年度も残りが少なくなってきましたが、親睦旅行が5月19日、20日に、100周年記念事業が5月28日に、白河との児童交流会が6月4日、5日で行われるなど重点事業がまだ残っております。

会員の皆さんにはもう少し本年度の事業にご協力をお願い致します。

さて先日のJR福知山線で起きた快速電車の事故は大変悲惨な結果となり、昨日現在で96名の方々がお亡くなりになり負傷者は458名となりました。

まだ直接の原因ははっきりしておりませんが、事故を起こした運転手は新聞等の報道からしますと、以前から少し問題があったようであります。

事故の起こす確率を定義したものに「ハインリッ

ヒの法則」というのが有る事は、皆さんご存知だと思います。これは一つの重大な死亡事故等の影には29件の軽傷災害が、また300件の無傷害事故があるという法則で、日頃の小さな事故が大きな事故の原因となっているという法則であります。

皆さん方も、ご自分の会社に変えられて此の事をあてはめてみるのも必要かと思えます。多分自覚しないが、実は非常に不安全な状態や行為が相当な件数あると思えます。

いつもやっていることだからという不安全な行為が、いつヒヤリ・ハットを飛び越え一気に重大災害になるかも知れませんが一度注意して観察してみてください。

海外では相変わらず、中国や韓国で反日感情が収まっていないようであります。

国と国はお互いに色々なことで相互に依存しあっているはずだと思います。それぞれの国の国内事情も色々とはあるはずですが、色々な報道で言われ報道されているような現象に対して実際のところはどうか分かりませんが、中国も実際にデモ隊の過激な行動によって日本の大使館が被害にあっているわけですので、その事実を認めるということも必要だと思います。

これから将来にわたってお互いが仲良く交流できるようにして行きたいものであります。

さて今日は会員卓話として森島会員のお話を伺うことになっております。皆様のご静聴をお願いいたします。

最後になりましたが、以前青少年の交換事業で大変お世話になりましたオーストラリアのオルバリーヒュームロータリークラブの会員でありました、イアン・グラッカンさんが亡くなったそうであります。

行田RCとの姉妹クラブまでに発展させたグラッカンさんの功績は大変大きいものであります。

彼の安らかな永久(とわ)のたびを願って、ご家族の方に弔電を打っておきました。皆様にご報告いたします。

「再生への道」 森島明文 会員



今晚は、久しぶりに皆様の前でお話できる機会を与えて頂き、ありがとうございます。

企業卓話と言う事で御案内頂きましたが浅学非才の我が身であれば、皆様方の御期待に叶うお話は出来ないかもしれませんが自分が体験し、学んだ事をお話したいと思います。

まず、現在の私どもの会社「明成産業」（森島明文氏の明と平成期の成とを以って会社名とした）の業務内容ですが、職業分類では印刷業となっておりますがグラビア印刷、すなわち輪転凹版印刷です。主に農業用資材の内容物を入れる袋に印刷しております。

更に詳しく申し上げれば、肥料袋（窒素・リン酸カリ・アンモニア・尿素などを入れる袋）家畜用飼料袋、浄化槽やプールの消毒剤袋、精米等の袋の印刷であります。

特に精米袋は一般消費者向け用と外食産業向け用（ココス・吉野家・すき家・松屋・とんでん・小僧寿し等へ出荷）の物であります。4. 2kg、2. 8kg、2. 5kgといった規格袋で、使用した袋を数えれば消費量の把握もしやすいし、パッケージから直接袋に入れるので不純物の混入もなく衛生管理上からも役立っております。そういった意味では、印刷業というより袋屋物流業といった方が的確ではないかと思えます。

しかし、最初から今日の業務形態ではありませんでした。

昭和42年26歳の時に東京板橋中台で創業、5年間主に中国に輸出する全農関係の尿素の袋を製造しておりましたが業務拡張のため埼玉笹目に移転、6年間ここでは製鉄の精製過程で出てくる転炉スラグの副産物転炉石灰を入れるバルグ袋を製造、昭和54年更に総合農業用資材の製造のために現在地の行田に移転、昭和59年五色印刷機を導入、翌々年八色印刷機導入と順調に発展して参りましたが、その頃から設備投資等による金利負担が増大して、昭和63年頃には、パラレスシートが逆転現象となり100円の物を作るのに120円のコストが掛かる様になってしまいました。

銀行からの借入等で何とか運営しておりましたが、平成元年9月に子供が発病し、明日をも知らぬ身と

なってしまう、子供の命、会社の命運共に危機的な状態に陥り、何とか、この様な状態から脱却する方法はないかと眠れぬ日々が続きました。

ある日、病院の帰路、川辺に腰を下ろし、水の流れに見入っておりました（自殺するためでは無いです）。

その時、方丈記（鴨長明作の随筆集で無常観を詠じた物）の「行く河の流れは絶えずして、しかも元の水にはあらず。よどみに浮かぶうたかたはかく消え、かく結びて久しくとどまりたるためしなし」や、ある教えの「世界ありてそれぞれあり、それぞれありて身の内あり、身の内ありて律あり、律ありて心の定めあり」が頭に浮かんできました。

永年にわたって蓄積された膿、澱みを出さない限り会社の再建も子供の命を救う事も出来ない。

「命が大切か、会社が大事か」との切羽詰まった二者択一の中で、私は躊躇することなく子供の命の方をとり、会社を整理し閉鎖する事としました。

しかし会社を整理閉鎖する事は非常に大変な事で、相互信頼に基づく永年の得意先や長年働いてくれた従業員の事などを考えると本当に胸の熱くなる物がありました。

そして、全てが片付く見通しがたった11月中旬、得意先の皆さんに対し感謝を申し上げる「お別れ会」を開催いたしました。

その2日後、大きな取引をしていた会社の担当者が来られて、「また、やってくれないか。」との話でしたが、取引関係を解消し決別した直後ですからお断りしましたが、依頼者の熱情甚だ熱く（日参すること数十日）、私もどの様に対処したら良いか悩み、今は亡き父親に相談した処、「今までのお前は会社の事業拡大と自分の事ばかりのみ考えて、社会に役立つ、他人様に喜んで頂く事業と言うものを考えていなかったのではないか、本当の事業とは他人様に喜んでもらい、社会に役立つものであるべき。」と諭され、「事業再開すべし。」との言葉を頂いて、私自身「この世の中を修練の場と考え、自分が輝けば会社も周りの人達も明るく輝く」と考え、その様な会社でありたいと願い、旧名称「中台化成」から「有限会社明成産業」と改称し、今日に到っておる次第です。

「生きていればこそその楽しい人生」、この様な考えで力強く人生を生きる事をモットーに日々励んでおります。

ちなみに病気になった子供とは、先日ロータリーで台湾の青年交流会でお世話になった娘です。また、私どもの会社に日参して依頼にこられた担当者は、今では一部上場会社の副社長として活躍しておられます。

私もつたない企業卓話を最後までお付き合いして頂き、ありがとうございました。おわります。

委員会報告

世界社会奉仕委員会 小林委員長



本日、受付で「ネパールの里子へ奨学支援」（年額8600円）とユネスコ世界寺子屋運動（1400円）の御願いを申し上げた処、11名の御協力を頂く事が出来ました。引続いての御協力をお願い致します。

100周年記念事業実行委員会 渡辺委員長



100周年記念事業の区切りとして5月28日（土）の「ピアノと朗読・語りドラマティックコンサート」を渡辺雄一氏と平野啓子氏の共演により開催する事になりました。

会員皆様の一層の御協力を宜しくお願い致します。前売り整理券の購入とポスター、チラシが用意してありますので、各家庭にお持ち帰り頂き御活用の際、また前売り整理券（大人500円、小中学生100円）は宮脇書店と行田R C事務所にて販売しておりますので御配慮の程、お願い致します。

